



第53号

昭和38年10月1日 毎月1回1日発行
昭和38年1月23日第三種郵便物認可

☆10月のこよみ☆

1-7日	法の日週間	17-23日	薬と健康の週間
5日	スポーツの日	23日	電信電話週間
7-13日	国際文通週間	24日	国連の日
10日	目の愛護デー	月間	芸術祭
11日	玉造工高開校式	10-12月	赤い羽根共
14日	鉄道記念日		同募金運動
17日	貯蓄の日		

青年横綱に思う

青木幸夫

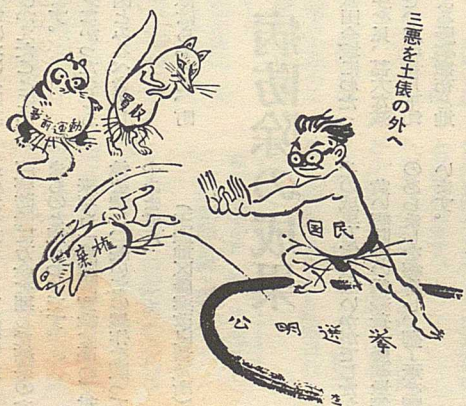
毎場所テレビを見て感ずることですが、僅か一千を越えたばかりの青年横綱大鵬、柏戸が、全く心、技、体ともに完成に近い偉大な力量をもつて、万全、いや数十万数百万の監視の中で、あの立派な土俵をつとめている姿を見て、唯々感嘆の外ありません。

特に、あの堂々たる態度には、全く驚かざるを得ません。解説者の説明によると、横綱が、番多く稽古すると言っているが、全くその通りであります。つまり、人一倍の稽古を積み、研究を重ね修養につとめて、はじめてそれが強い信念、自信となり、身についてあの態度に現われることなのでしょう。

それにしても思うことは、私達の生活に直接結びつく、最も大事な選挙についてであります。私達、民主国家の一員として、民主政治のもとにおける国民としての立場、即ち、主権者としての地位に対する自覚が出来、主権者にふさわしい判断と行動が出来るようになっていくかどうかということです。そして、主権者のひとりとしてその権利を行使することができるかどうかです。

一つの間接である選挙投票に当たって、私達の一票が、総理大臣や、大学総長と全く同じ価値を持つものであることを思つて、平素政治に深い関心を持ち、国政や地方自治にどういふ人物を代表として選ぶかをよく考え、他人の指図を受けないで自分の判断で投票出来るかが問題になってくるわけです。こうした問題を取りあげて、前前から国を挙げて「公明選挙」という看板をにかけて運動を展開しているわけですが、果たしてその実績はどうでしょうか。残念ながら、選挙違反の実例からみても、回を重ねるに従って益々悪化している世情です。特に、近頃は違反を取つかしいとも思わす、極端に言えばやるのは当然だと思つてゐる人もある状態です。全く寒心たえない次第です。

従来はどちらからかといへば候補者の方に非難が向けられることが多かったのでは



るが、金品、きょう応など買収されなければ投票しないという考えを持つ選挙民が多くなって来たこと聞かれます。また、選挙のときに集まれば飲み食いするのは普通だというようなどことは、外国には全く例を見ないことなす。京都大学総長が、卒業生を送る訓示の中で「ただ酒」を飲むなといわれたそうです。まさに名言であり、急所を突いた言葉であると思ひます。

△

この秋場所、柏戸が心配された休場後の土俵で、見事優勝賞金を手にしてのあの涙。さもありろ。思ひがけなくも金勝し得た自らの喜び、それにもまして、多くのファンから寄せられていた期待と相撲界に対する責任を果たした安堵の気持ち、ほんとうに復

昭和35年から、10月1日を「法の日」とし、この日から1週の間を「法の日週間」と定めていた。そして、この日を中心として法を尊重し、法によって基本的人権を守り、法によって社会秩序を保ち、争ひは法によって解決しようという精神を高める運動を進めてきました。

「法の日」週間

これは、終戦以来いろいろの原因で、法を守るという気持になつて、力で自分の慾望や主張を満すという風潮が強くなつて、青解決し、明かしく幸福な郷土、少年の不良化と社会不安の原因になつていまして、民主主義が危うい状態であつたと思われま

連続「優秀旗」の栄

一 県消防大会で

政治のよしあしは、まさに私達の一票からです。国民の選挙に対する態度のよしあしは、政治のよしあしを決定する根本なのです。私達は、平素から政治に対して十分な関心を持ち、選挙にあつては、あらゆる誘惑に迷わされることなく、相撲の本場所土俵上のように、正々堂々と、自信を持って投票が出来、主権者としての重大な責任を果たすことが出来るよう努めなければなりません。

（筆者は、玉造町選挙管理委員会委員長）

「主権者の誇りを売るなこの一票」

○長年勤続消防団員【20年以上】
橋川正治、渡辺一男（以上上野山利治、小松崎政一、椎名忠夫（以上高須野島雄雄、鈴木）
○優良消防職員
奥村水男



石浜校長

開校式にあたり

校長 石浜 盛

時まさに中秋の候、十月十一日、茨城県立玉造工業高等学校の開校式を挙げることにいたしました。まことに喜びの至りに行きます。

思うに、本校は、地元玉造町長をはじめ、町民のみなさん、ならびに関係市町村皆様の熱心な教育愛の賜によるもので、産業開発の一端を荷う技術者養成を目的

として誕生したものです。

そして、ここに地元県議員、土地協力者及び郷土愛に燃える諸先輩のみなさまの御厚意と、御協力と、更に当局の御理解とにより、今日の佳き日を迎えることになりました。

緑に囲まれた、整然とした本館、実習工場などの施設設備をはじめ、広大な運動場など、立派な恵まれた教育的環境を与えられた感激は、これにまさるものは知ら

機械科の紹介

機械科長 矢口秀夫

県内でも、大きい有力な町とは言えない玉造が、高校の中でも、特に金がかかる工業高校誘致成功の隣には、町当局はもろんこと、町民の誰もが、想像以上の努力を続けられたことと存じます。

その努力が結実し、この学校をより一層伸ばしていくのが、吾々

前途に栄光あれ

玉造工高の開校式

県内地域の工業開発が、時代の脚光をあびて大きな将来を約束されているとき、その原動力となる科学教育を身につける教育の場として、県立玉造工業高等学校が、武蔵野の一角に設けられ、この4月から授業を始めています。

開校を祝って、10月11日に盛大な開校式が挙行されますが、誕生後半歳に満たないながら、洋々とした前途を祝福された学校の姿を紹介いたします。

に課せられた責任であり、また、皆さんの御期待にそい得る途と

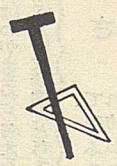
思っています。

さて、その責任の一端を果たす意味で、機械科のあらましを説明申しあげます。

一、現在まで

「本年の三月完成した実習工場の内容は、木型、鋳造、鍛冶の3工場に区画されています。

この工場を利用して、木型、板



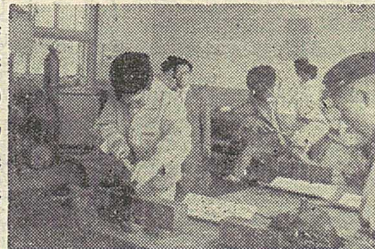
実習所感

機械科一年 山中 浩

大柳 昌弘

工業高校に入って、実習があることをある期待をもつて待っていた。実際にやれるというところは何か楽しい気がしていた。

【機械科実習】



ません。

私共、教職員、生徒、ならびにPTA一同は、皆様の御厚意を深く胸に刻み、この恩に報い、御期待に副うべく、それぞれの本分に精進し、更に一層の努力を重ねる覚悟でございます。

開校式を迎えるにあたって、所感の一端を述べ、重ねて町民みなさんの御協力に感謝の意を表し、あいさついたします。



機械科では実習は四班に分かれ、手仕上、鋳造、木型、溶接に電気科実習（電気抵抗の測定）

がよい。

実習は授業よりも待たれる時間であるが、なかなかつかれる。しかし、おもしろく、これが工業へ入っての学習だと思

と、張り切っています。時間のたつのを忘れる。今の所はいずれも基礎ばかりであるが、実習工場がどんどんたつて、高級な機械が入ってくると胸がたかなるのを感じる。

明かるく

自主的な子どもに

九月二十日、羽生小学校をたずねた。

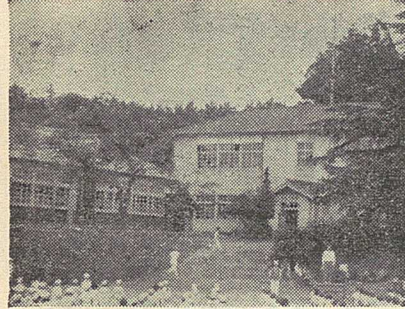
夏の水泳場でにぎわった桃浦から歩いて10分、部落の家並みから少しはいる、北を山に囲まれた暖かい静かな環境に、長い年月を経た校舎があります。明治二十二年七月創設の古い歴史から、数多くの有為な人材を社会に送りだした誇りを物語ることです。

ちょうど運動会の予行練習をしており、元気な子どもたちの声、応援が庭にはいに溢れ、霞が浦、筑波の空にまでとどまっています。

学校をたずねて

1、地域の特性と教育目標

本校の子ども達は、たいへん素直で、礼儀も正しく、まじめによ



羽生小学校

く働きますが、その反面、消極的で、自主性が不足していると思われることがあります。刺きが少ない、生活経験の領域も狭く、農村のことなのでむを侮まいと思いが、これが、こども達の学習や生活を伸ばす上にかかりの影響を持つと考えられますので、明かるく楽しい学校づくりにつとめ、自主的な子どもに成長させることを目標に進みたいと思

います。

更に、元気でがんばる、何事もやりぬく、ほのぼののある子ども、物を大切に、物事は進んでやり友達と仲よく助け合い、勉強がすきで身についた学力のある子どもにする、本校の現状からみて十分考え、努力する必要がありますと思

2、地域ぐるみの協力

何と申ししても、教育効果をあげるには、ゆたかな環境づくり、地域ぐるみの協力が不可欠です。その点、PTAの活動、子ども会後援会の活動が活発で、団体登下校をはじめ、校外生活指導が非常によく行われ、ようこそという限りと思



完備された図書室

歌百鳥

六年 牛賀せ

学期ごとに実施される学級PTA、その他の会合にも出席は向上し、家庭との結びつきは強まり、教育問題を中心に相互の理解が深まり、成人教育の推進となり、家庭教育の振興に役立ち、それが学校教育の充実、好結果をもたらしてくれたいと思っております。

家庭教育の中心は、小学校段階では母親が中心になると思

います。

で、今後は母親と教師の間に

より一層系統的に充実したPTA

本来の活動を願っています。

PTAの物心両面からの協力は

施設設備の充実、行事への参加、作業努力等々、数多く、本年

度も体育用品の寄付をいただき、より充実した運動会ができましたことを感謝しております。

自然環境に恵まれたこの地、霞が浦の水と筑波の緑、校舎のとお

り伸びゆく栄華ある学校となることを念じ、よき伝統を守り、更

に、筑波の緑を身に受けて

香りの高い橘の

学びの道にこそしめる

我等が前途希望あれ

おかあさん

五年 畑 ひろみ

おかあさんは、わたしがあちあちの時から、いろいろな仕事をしています。この七月から東京で働いており、月に一度帰ってきてくれます。帰ってきた時はうれしくて胸がいっぱいになり、とびういてしまいます。

ときどき、学校で、おとうさんや、おかあさんの話がでます。なんといわれても泣かないつもりですが、ついさびしくなって泣いてしまいます。しかし、おかあさんのいない人や、おとうさんのいない人がたくさんいます。そして、学校には、いい友だちがいるのでさびしが「すーっ」とぬけるように消えてしまいます。

「今のわたしの願いは、早く大きくなることです。でも、ただ早く大きくなるのではありません。親孝行ができる、立派な人間になることです。そのためには、どんな

一、景勝の地に生を受け

朝の太陽を吸いこめば

小さな胸にみなぎる力

いざやあけぬ校の誇

ながめつときめ高台の

学びの道に集いし

我等が生命榮えあれ

二、湖上の白帆下に見て

三、湖上の白帆下に見て

我等が生命榮えあれ



はりえ 五年 井野場啓子

なっている。

手仕上げでは文鎮を作った。すりあげるの、やさしいよう

ずかし。手にまめができてしま

う。鋳造では型込めをしている

と予想より型のおいものが出来

て、仕上げの時は、俺も工業に

一歩足をふみ入れたかとひとりで

はまむ。

木型では鋳造で使う木をくを作

る。カンナかけと直角に出すのが

思いつくに行かず、上と下を同

一に合わせるのがむずかしく苦心

する。原型を入れるわくになるの

でよい型を作るにはこれがよく

出来ないと思う。

溶接では酸素溶接をやる。溶接

をするとき溶接機がでるが、たい

にうまくつこうに基礎をやつて

いる。母材をわかし足りなくてロ

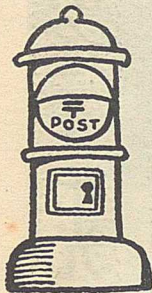
ー棒を先にかかしてしまつて、母

材にとけ込み失敗してしまつて、

勢いよく火花を散らしてロー棒を

とかすのは気がたつた。

ハイ・ゆうびん



れはやむをえず行なうことです。から、人に危害を与えるような犬や動物を飼っている家庭では必ず安全な場所につなぐとか、適切な方法をとっていただきます。

☑老後に備えて

人間は、いつまでも健康で働き続けることができれば、これにこしたことはないが、年をとると、やはりからだがかかなくなります。

また、たとえ健康であっても、定年という大きな壁にぶつかって働かなくとも働かせてくれません。

そこで、生活設計のポイントとして、働けなくなるときまでの収入を計算してみ、これを消費と貯蓄とにどのように振りむけるかを考えることが必要です。中でも生命保険はそのほとんどが養老保険で占められているように、ひろく老後の備えとして利用されています。

9月から12月までの間、簡易保険加入運動を展開しますが、9月は、老後の備えとして簡易保険の利用をおすすめします。

☑公衆電話の開設

手賀地区の島名木、茂木彦宗さん宅に農村公衆電話玉造局241番が開設しました。



☑羽生郵便局局舎完成

羽生郵便局局舎は、改築工事中でしたが、9月15日、完成しました。木造モルタル塗り、81・15平方メートルのモダンな建物で、公衆室、事務室が広々と、明るくとられています。

改築を期して電話の増設が計画され、多くの便利が与えられることになりました。

☑犬をつないでください

近年国民生活の安定につれて、愛がん動物として、または防犯上の目的から犬を飼う家庭がふえています。しかし、飼う犬の中には郵便物配達作業中の外務員をおさえ、多くの便利が与えられることになりました。

郵便局としては、できるだけ配達するように努力していますが、危害をおよぼすおそれのある飼う犬を、つないでおかない家庭にあてた郵便物は場合によっては配達をしなくてもよいことになっています。しかし、こ

商工会欄

産業文化祭を開催

第3回産業文化祭を、左記により開催することになりました。

町民の勤労感謝と慰安を兼ねた行事です。すから、ふるって参加くださるようお願いいたします。

期日 11月2日・4日

会場 小学校、町役場
農機具、家具展示会
東部一流芸術大会
菊花展示会

「商業経営講座」から

8月12日、青年研修所で、常陽銀行審査課の赤津光衛先生を招へいして、商業経営講座を開催しました。終始ユーモアを交えて企業経営方針について講義をつづけ、受講者も、まれに見る多数でした。内容の一部を御参考いたします。

○事業に失敗するコツ

1 旧来の方向が一番良いと信じていること。
2 七手は千手屋だとうぬぼれること。

11商売に人情は禁物だと考えること。

9 支払いは延ばす方が得だと、なるべく支払いを延ばすこと。

10 お客はわがままだと考えること。

8 機械は高いと言って、なるべく人を使うこと。

7 高い給料は出せないと言って人を安く使うこと。

6 良いものは黙っていても売れると安心していうこと。

5 どのくらいかたんと考えていること。

4 「かせぐに追いつく貧乏なし」と言いつて、むやみに働くこと。

3 ひまがないと言って、テレビを見ないこと、本を読まぬこと。

2 3 ひまがないと言って、テレビを見ないこと、本を読まぬこと。

1 2 3 ひまがないと言って、テレビを見ないこと、本を読まぬこと。

年末資金の申込受付

12 そんなことは出来ないと言って改善しないこと。
以上は、商売の失敗する方法です。この反対のことを考え、実行することによって店が繁栄するのです。

年末資金のあつ旋については、年々皆様の御期待に添うよう努力していますが、申込みが遅くなりますと、いろいろな都合でお断りするよう結果となりますので、ぜひ早目に申し出ていただきます。

☆ まちの話題 ☆

元気で畑仕事

八十六才の原田さん



若海部落の、原田竹次郎さんは、明治8年生まれで、ことし86歳。今なお壮健で、20アールの畑を耕作しています。畑までの坂道を、車で収穫物を運んだり、自転車で町まで買物にいったり若い者に負けない元気です。

娘さん方は結婚して出られ、長男の城さんは養育院で教鞭をとっており、勤務のついでで水戸に居住され、現任、妻のよしさんと二人暮らしです。

俳句

阿蘇にて

東京 高木 耕人

阿蘇谷の晩稲をかがけそむ
秋早き阿蘇の里人歌を干す
放牧の馬おとなしく草の花
秋天に泥絵のごとく火口壁
阿蘇谷の闇をよきりて銀河濃し

あとがき

秋がかけ足でやってきました。すみきった空、高い雲。
大気は涼しく、心は明るく、あたたかくありたいものです。
冬の訓練に耐えるじょうぶな体きたえてください。
(文)

発行所 玉造町役場

発行人 町長坂本

編集広報委員会(定価一部10円)

印刷所 新いはらき印刷局